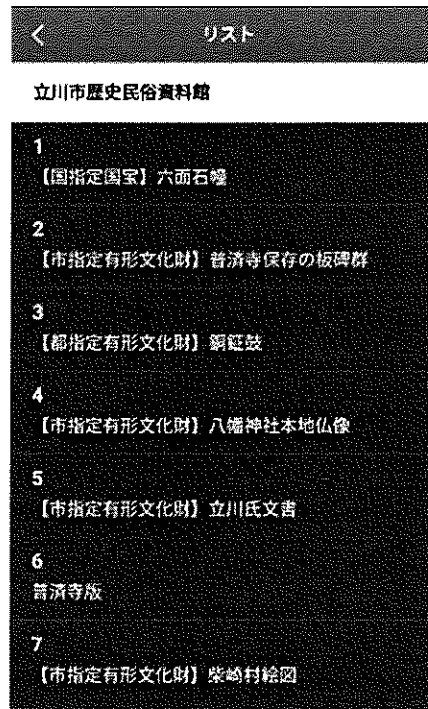


## 歴史民俗資料館におけるガイドアプリの導入について

### 1 導入するアプリ名 ポケット学芸員（開発元：早稲田システム開発株式会社）

#### 2 概要

ポケット学芸員とは、スマートフォンを利用して展示解説を楽しめるガイドアプリである。このアプリは現在、全国178の博物館・美術館ですでに導入されており、多摩地区では国立市・青梅市がサービスを実施している。テキスト画面だけではなく、写真や音声など多様なスタイルでガイドを行うことができるため、より多くの情報を利用者に届けることが可能となる。デジタルミュージアムの替わりとして、十分な機能を備えている。



#### 3 ポケット学芸員の導入理由

- ① 全国ですでに多くの導入事例があり、アプリの普及率も高いことから、安全性や信頼性が保証されている。
- ② 現在リース契約をしている「収蔵品管理システム」のオプション機能であるため、新たなコストを発生させずにサービスを開始することが可能。ランニングコストも不要。
- ③ スマートフォン・タブレットPCで利用できるため、家庭や学校の授業でも活用ができる。
- ④ 現実では展示スペースが限られているため紹介ができなかった内容を、アプリと併用することで補完することができる。
- ⑤ このアプリは全国178の施設とサービスを共有しているため、新規の閲覧者に当館をPR宣伝することができる。
- ⑥ アプリの運営を早稲田システム開発(株)が保守込みで行っている。
- ⑦ 内容の更新が簡易にできるよう設計されており、手間や難しい作業が一切かからない。

#### 4 導入開始予定日 令和6年1月4日(木)から